

2020 年度学修行動調査結果について（報告）

豊橋創造大学・豊橋創造大学短期大学部
教務委員会

2020 年度学修行動アンケート調査について、集計結果をまとめましたので、ここにご報告します。
調査結果は関係する委員会をはじめ所管部局にフィードバックし、学生の実状把握に役立てるとともに、多様なニーズに応えられるよう学修環境や学生生活環境の改善に努めたいと思います。
最後に、本調査にご協力いただきました学生みなさんに厚くお礼申し上げます。

1. 調査時期：2020（令和 2）年 12 月 10 日～2021（令和 3）年 2 月 12 日

2. 回答率：

年度	基本調査	調査 1 (大学の勉強について)	備考
2020 年度	45.8% (469/1023)	43.9% (449/1023)	
2019 年度	30.9% (311/1005)	30.5% (307/1005)	
2018 年度	35.7% (366/1025)	35.8% (367/1025)	
2017 年度	16.3% (174/1067)	16.0% (171/1067)	
2016 年度	22.9% (243/1060)	19.5% (207/1060)	

3. 調査結果

今回、ご協力いただいた調査結果より主な 5 項目を抜粋し以下の通りまとめました。

1) 1 週間の通学日数

今年度、新型コロナウイルス感染症対策として、遠隔授業と面接（対面）授業の併用していたため、全体的に 2 割程、例年より大学への通学日数が減っております。2021 年度については、面接（対面）授業を基本としておりますが、現在も新型コロナウイルスの感染状況については予断を許さない状況が続いており、緊急事態宣言（大学への休校要請を伴うもの）が発令された場合、さらに学内で感染者（クラスター）等が発生した場合に備え、遠隔授業に切り替えることができるよう準備をしております。

2) 1 週間を通して大学で過ごす時間

遠隔授業、さらにサークルが原則禁止されているため、3 割程度大学で過ごす時間が少なくなっています。

3) 授業への出席率

昨年度より、若干下がっている学科があるものの、おおよそ横ばいであった。コロナ禍においても、

遠隔授業と面接（対面）授業においても、授業への出席率については、例年と変わらなかった。

4) 授業の予習や課題に取り組む時間

コロナ禍において、サークル活動が禁止され、アルバイトも少なくなっており、また遠隔授業では課題が多くなっているため、学生にとっては予習や課題に取り組む時間が多くなったと考えられる。

5) 授業以外での自主的な勉強

理学療法学科を除いたすべての学科で、自主的な勉強時間が多くなっている。遠隔授業により、通学時間も短縮することができ、さらにサークル活動が禁止され、アルバイトも少なくなっており、学生にとっては、勉強に集中できる期間となったと考えられる。

以上